

【広島県府中市】

校務 DX 計画

校務 DX を推進するために「GIGA スクール構想の下での校務の情報化に関する専門家会議」の提言や「GIGA スクール構想の下での校務 DX 化チェックリスト」による自己点検の結果等を踏まえ、次のとおり校務 DX を推進する。

1. 次世代校務 DX 環境の構築

現在、本市ではオンプレミス型の校務支援システムを導入し、校務の効率化を図っているが、今後は教職員が場所を問わず安全かつ柔軟に校務を遂行できる環境の構築を見据え、クラウド環境への移行も含めた校務支援システムの在り方について検討を進めていく。

2. ペーパーレス化の促進

(1) 学校と保護者間の連絡ツールをデジタル化

本市では、令和 5 年度より保護者から学校への遅刻・欠席等の連絡ツールとしてクラウドサービスを導入し、令和 6 年度からは同サービスを活用し学校から保護者への連絡配信機能の運用を開始した。同サービスの積極的な活用を促し、ペーパーレス化をより一層進めていく。

(2) FAX・押印の廃止

本市においては、学校からの提出書類について押印が必要な書式も残っており、その書式の送達方法は電子メールではなく逋送や手交を用いている現状がある。業務の効率化を図るため、押印が不要な書類については規定等の見直しを行い、様式の変更等を行うとともに、電子メールやクラウドサービス等による書類提出方法の変更についても検討を進めていく。

また、一部の業者との連絡や、発注業務等において、FAX の使用が残っているが、FAX を使用する業務について電子メールやクラウドサービスへの移行の可否についても検討を進めていく。